

■ラスパークチェック 2-3544-01

■製品構成

- ラスパークチェック
(リンス液を含有するキャップ一体型綿棒)
リンス液(リン酸緩衝塩化ナトリウム液)
- ・リン酸二水素カリウム
 - ・リン酸水素ナトリウム
 - ・塩化ナトリウム

■包装

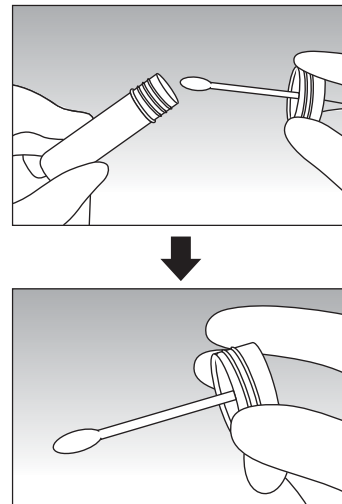
300本入り(10本/箱×30箱)

■保管方法

室温暗所保管

■使用手順

1. 付属のサンプルラベルに必要事項を記入し、本体に貼付します。
2. キャップを外し、本体中央部を圧迫して綿球の余剰のリンス液を絞ります。
3. あらかじめ特定した被験試料の表面を、ふき取り手順に則ってふき取ります。
4. ふき取り済みの綿球を本体に戻します。
5. キャップを確実に締め、よく混和して採取菌体をリンス液に懸濁します。
6. 本体中に調製された菌懸濁液を、微生物学的検査に用います。



■ふき取り手順(例:ふき取り面積が100cm²の場合)

〈混釈法〉

1. ふき取り場所の一定面積(例:10×10cm)を約20~30°の傾斜角度で前後左右に何度も強く丹念にふき取り、リンス液に十分浸出させ試料液とします。
2. 試料液各1mlをペトリ皿に分注し、予め滅菌溶解し48~50°Cに恒温した検査用培地を本ペトリ皿に15~20ml程度注ぎ、速やかに前後左右に回転しながらよく混和し、水平状態で固化させて適切な条件下で培養します。
3. 浸出液中の菌数を、ふき取り単位面積当たりに換算し生菌数とします。
(例)1cm²当たりの生菌数=平均集落数/ml×浸出液の量÷ふき取り面積

〈塗抹法〉

1. ふき取り場所の一定面積(例:10×10cm)を約20~30°の傾斜角度で前後左右に何度も強く丹念にふき取り、リンス液に十分浸出させ試料液とします。
2. 試料液各1mlを予めペトリ皿に分注乾燥固化しておいた検査用培地上に塗抹し適切な条件下で培養します。
3. 浸出液中の菌数を、ふき取り単位面積当たりに換算し生菌数とします。
(例)1cm²当たりの生菌数=平均集落数/ml×浸出液の量÷ふき取り面積

〈使用上の注意〉

- ・リンス液を飲まないように、誤飲に注意してください。
- ・ふき取り検査以外に使用しないでください。
- ・リンス液を使用前に他の容器に移し替えたり、捨てたりしないでください。
- ・リンス液が皮膚に付着または眼に入った場合は直ちに大量の流水ですすいでください。異常があった場合は、医師の手当てを受けてください。
- ・ふき取り後は直ちに検査に供してください。
- ・本体中央部を圧迫したまま(綿球を押さえたまま)キャップを回さないでください。綿棒が抜けることがあります。
- ・使用後は産業廃棄物の扱いで、各市町村の条例に従い速やかに廃棄してください。